

第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。(問4)

【集計の方法】

回答は内容からA～Nの14項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	155
B	農林水産業に関すること	55
C	観光に関すること	39
D	文化・スポーツに関すること	39
E	道路・交通ネットワークに関すること	76
F	移住・定住に関すること	59
G	結婚・出産・子育てに関すること	140
H	女性・若者の活躍に関すること	38
I	地域社会の維持・活性化に関すること	21
J	健康・医療・福祉に関すること	83
K	教育・人づくりに関すること	39
L	防災減災に関すること	9
M	生活環境・自然環境に関すること	69
N	県政全般に対する意見・その他	308
合 計		1,130

2 主な自由意見

699 人から、1,130 件の意見があった。一部を抜粋して掲載する。誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

A. 商工業・雇用・労働に関すること

- 二次産業、特に I T 産業は重視すべきだと思う。「東北最大級の〇〇」として店舗や工場を誘致すれば、県内で働く理由も増え、県外から戻ってくる人も増えると思う。(男性/10 歳代/平鹿地域)
- 仕事をやめて 10 年くらいブランクがある場合に手助けしてもらえるサービスを作って、ブランクがあっても働きやすい環境を作ってほしいです。(女性/30 歳代/由利地域)
- 最低賃金が低すぎます。働いても働いても、物価高騰等の影響もあり大変な暮らしをしている人が多いと思います。(女性/40 歳代/秋田地域)
- 風力発電事業に続く新たな産業の開発、育成、定着。(男性/40 歳代/秋田地域)
- 異業種交流によるイノベーション創出に取り組み、それにより生まれた事業に補助金を拠出するなど支援して、県内企業の活性化を図ってほしい。(男性/40 歳代/秋田地域)
- リモートを活用し秋田にいてもできる仕事、会社そのものを誘致しなくても、事業を誘致してほしい。(女性/50 歳代/仙北地域)
- 働きがいのある職場を増やし、若い人たちにもっと秋田に住みたいと思えるようにしてほしい。(女性/50 歳代/由利地域)
- シニア世代の仕事の場を広げてほしい。(女性/50 歳代/秋田地域)
- 都心と同じ水準に給与を上げるよう、企業に働きかけてほしい。(男性/50 歳代/秋田地域)
- 秋田県沿岸は風力発電に優位な地域であり、自然エネルギーを活用した産業を発展させるべきと考えます。使用しない電気で水素を作るなどエネルギーの原料にできればいいのでは。技術力とコストが必要ですが、この秋田に新たな産業を生み、電気代も安価になれば、秋田に住みたい人が多くなると考えます。(男性/50 歳代/由利地域)
- 都市部では、初任給の引き上げなど行われているようですが、県内企業におかれましても、初任給の引き上げを含めた賃金の上昇について、県の取組として力を入れていただきたいです。(男性/50 歳代/由利地域)

- 非正規で働いている者の正規雇用への移行を強力に進める施策を行っていただき、県民が安心して生活できる環境作りをしていただきたい。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 首都圏に出なければできない仕事もありますが、コロナ禍の影響でリモートワークも可能な世の中です。人手不足に悩む企業も多くある状況で、「仕事がない」は大いなる勘違いではないでしょうか。(男性／50 歳代／平鹿地域)
- 最近、他県企業が秋田に拠点を移して活動していますが、秋田県民の採用が少ないのが気になります。他県企業の採用基準をクリアできる人材教育に力を入れていただきたいです。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 私はこれから先、できれば70歳、それ以上働きたいと思っていますが、なかなか働く場所がない。また、働く場所が限られてしまうのが現状です。もっと雇用環境の拡大に努めてもらいたい。(男性／60 歳代／秋田地域)

B. 農林水産業に関すること

- あきたこまちやサキホコレなど、秋田にはおいしいお米があるのに、本当に後継者がいない。私は農家ではないが、周りでは離農する人がたくさんいる。高齢化が進み、昔のような活気のある農作業が見られないのは寂しい気がする。物の値段は上がるが、米の値段はなかなか上がらない。「おいしいお米＝秋田県」いつまでも続いてほしいと思う。(男性／40 歳代／仙北地域)
- 農業をやりたい県外の若者を呼びよせるためにも、スマート農業をもっと広く普及させてほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- サキホコレを食べました。本当においしいお米で、米どころを代表するのにふさわしい品種だと思います。あきたこまちも好きです。品種改良への県としての取組には頭が下がります。一方で、米以外の農作物での特色づくりで努力が見えてこないのが残念です。(男性／50 歳代／平鹿地域)
- 農業従事者が高齢になって、後継ぎがいなくなり、田んぼで米を作れる人が少なくなっていると思います。若い人が作れるような、働けるような生産システムや、農業のやり方をもっと考えていただけたらと思います。林業、漁業も同じように言えますが、このような仕事に若い人が就けるような仕組みを考えてほしいと思います。(女性／60 歳代／秋田地域)
- サキホコレを県民自身がSNSに「美味しい」とアップできるほど、食べた人が多くなるとよいと思います。口コミの力を利用できるとよいと思います。もちろん、首都圏での大々的なPRも重要です。(女性／60 歳代／仙北地域)

C. 観光に関すること

- 風土、自然、食べ物、人柄、あらゆる面で非常に恵まれている秋田県の良さを、十分に県外に発信されているとは言いがたく非常に残念に感じます。(女性/50歳代/秋田地域)
- 各市町村、良い所がそれぞれ沢山あるが、それをつなげた「観光コース」をもっと作ってほしい。県外の人を案内する時にすごく迷う。(女性/50歳代/秋田地域)
- 個人レベルでの観光については、ハイクラスの宿泊施設が不足しているとの声を県外の人からよく聞きます。専門的な知識を持つアドバイザーの派遣などを斡旋し、既存の宿泊施設をグレードアップさせる方策等を模索していたたければと思います。(女性/50歳代/平鹿地域)
- 観光地は沢山あるが、アピール度が低いためか、他県より観光客が少ないように見える。(女性/60歳代/仙北地域)

D. 文化・スポーツに関すること

- 秋田の文化などをもっと広めていくべき。私たち秋田県民もよく分かっていない。他県に広める前に、秋田県民に先に広めてみてはどうか。(女性/10歳代/北秋田地域)
- スポーツをやらせるのにもお金がかかりすぎる。せっかく土地もありスポーツにも力を入れているのなら、子どもたちが家庭の事情でできないということのないサポートがあると嬉しいです。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 秋田県民歌。いい歌だが普段生活しているとまず聞く機会がない。郷土意識の向上にもう少しうまく使えるのではないか。(男性/30歳代/山本地域)
- 他県では盛んではない特徴的なスポーツを県の競技として推したり、お金がかかる競技に手厚い支援をしたりすることで、競技を支えていく取組がもっとあってもいいのではないのでしょうか。(男性/50歳代/平鹿地域)

E. 道路・交通ネットワークに関すること

- 交通の便をよくするべきだと思います。これさえよくなれば人は絶対に秋田に来ると思います。(女性/10歳代/鹿角地域)
- 秋田県内を車がなくても移動しやすいように、公共交通機関を見直してほしい。(男性/30歳代/秋田地域)

- 道路交通網の整備を行い、高速道路の二車線化や国道、県道のつぎはぎの舗装を新しくしてもらいたいです。そうすれば、他県との往来もしやすくなると思いますので、観光客なども増えると思います。
(男性／30 歳代／仙北地域)
- 公共交通機関の乏しい地域ですので、通院等に利用できるよう、高齢者が気軽に利用できる地域コミュニティ路線の交通手段を整備していただきたいと感じております。(男性／50 歳代／山本地域)
- 高齢になって、免許を返納した後の生活サポートがあまりにも少ない。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 高齢化社会に対する交通弱者への対応として、早急なコミュニティバスの運行の推進。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 休日のバスの運行が少ないため外出が不便。(女性／70 歳以上／秋田地域)

F. 移住・定住に関すること

- この先、永く秋田に住んでいきたいですが、高齢化が進む一方なので、若年層の定着が進むようあらゆる面で支援や制度を見直してほしいです。他県の地方移住の取組などに比べても、秋田県は独自性や移住メリットが少ないように感じます。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 少子化を食い止めるために、若者が定住するような政策が必要。中学生～20 代にアンケートをとるなどし、本当に必要な実態に即した政策をするべき。(男性／30 歳代／雄勝地域)
- Aターンや移住者のためにも、サポート体制の充実を希望します。(女性／40 歳代)
- ふるさとが好きな子どもがたくさん育って、秋田に住みたい、帰りたいと思ってくれるのが一番活性化につながるのかと思います。(女性／40 歳代／由利地域)
- とにかく秋田の若者が、秋田に住みたい、秋田で働きたいと思うような体制を考えてほしい。秋田を好きだと思っている若者は割と多いが、就職先がなく結局県外へ出ていってしまう人がまだまだ多くいる。それでいて実際は、県内の各職種で人手が不足していて一人にかかる負担が大きくなる現状なので、ここで真剣に考えなければ県外流出は更に加速していくと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 子どもが県外の大学進学で秋田を離れた際、県の就職情報発信サイトへ登録しました。ほとんど情報はなかったそうです。今は状況が変わっているかもしれませんが、積極的な情報発信で、秋田へ戻る若者が多くなると期待できると思います。(女性／50 歳代／由利地域)

G. 結婚・出産・子育てに関すること

- もっと母子・父子家庭などが働きやすい、育てやすい環境をしっかりと作るべき。(女性/10歳代/北秋田地域)
- 少子高齢化対策として、若者の交流の場を作り、出会いを増やしていただきたいです。(男性/20歳代/秋田地域)
- 危険だという理由で遊具の撤去、ボールを使つての遊びは禁止され、近所の公園で遊ぶということができなくなっている。外でのびのびと遊ばせる環境を整備してほしい。(女性/30歳代/秋田地域)
- 広場や遊具、室内遊び場など、子どもの遊び場をもっと増やしてほしい。(女性/30歳代/秋田地域)
- 子育てや出産に力を入れてほしい。子を産みたくても経済的に苦しくて産めないような方もいると思う。子育てや出産しやすいというのも街の魅力の一つだと思う。子育て出産が充実していれば他の地域から移住してくる家庭もあると思う。(女性/30歳代/秋田地域)
- 妊活中ですが、精神的に辛いと感じることがあります。よく、「結婚し、安心して出産して～」と言われますが、望んでも授けられない身とするときつい表現です。心理的サポートも、もっと充実させてほしいと思います。(女性/30歳代/秋田地域)
- 子育て世代を支援する制度を充実してほしいです。小さい子がいると仕事を休まざるを得なくなります。私の勤めている職場には、看護休暇はあるものの無給扱いです。(女性/30歳代/由利地域)
- 女性が働きやすい環境、子育てしやすい秋田を作ってください。保育園入所についても、3人目は無償化と言いますが、1人目が学校に入れば、3人目が2人目で数えられます。結局、子どもが3人いても、何の恩恵もありません。(女性/30歳代/秋田地域)
- 子育てにはお金が必要である。手当などありがたいが、税金からの補助に頼るだけでなく“自分の稼ぎ”だけで育てられる状態が望ましい。(男性/30歳代/雄勝地域)
- 大学に進学する子どもたちにもっと支援があると良いと思う。学びたいのに経済的理由で諦めざるを得ない場合、親としては本当に心苦しい。(女性/40歳代/鹿角地域)
- 子育て支援について、いろいろ考えて金銭的支援をしているが、果たして、支援を受けている側は、お金を使っているのだろうか。一部は使っているだろうが、周りの子育て世代に聞くと、貯金しているそうだ。これは意味がある支援なのだろうか。有効に使われていないと感じる。(女性/40歳代/秋田地域)

- 奨学金の返済のために、より給料の高い都会に出ていく子どもたちが多く感じている。県外に出なくても返済できるくらいの給料を確保できないと、結婚して子育てするというのは大変なことだと思う。(女性/50歳代/仙北地域)
- 子供を育てやすい社会になってほしい。大人は、次の世代が今よりも良く、楽しく生活できること、平和であることを考えるべきだと思います。(女性/70歳以上/平鹿地域)
- 県内で結婚し、安心して子育てができるような社会になるよう、県に力を入れてほしい。(男性/70歳以上/仙北地域)

H. 女性・若者の活躍に関すること

- 若い人たちが県内でもっと幅広く活動や学ぶことができるような施設や職場を増やしていくべきだと思う。また、若い人たちで賑わうようなイベントを増やしていくことで、より秋田が活性化していくと考える。(女性/10歳代/秋田地域)
- 秋田県は昔ながらの考えを持っている方が多いです。高齢者も多いです。それがだめではないですが、新しいことをしようとする若い世代には優しくありません。男尊女卑もあると思います。(女性/30歳代/平鹿地域)
- もっと若者が楽しめるイベントの企画、施設等も作っていただきたい。(男性/30歳代/由利地域)
- 若い人が働ける環境、活動できるような場をもっと増やしてほしい。若い人が活動できることにより街中も活気に満ち、元気で力強い地元になれると思う。年配の方々も、街が元気になり精神年齢が若がるような環境になるよう、政策を実行していただきたいです。(女性/40歳代/秋田地域)

I. 地域社会の維持・活性化に関すること

- 誰もが住みやすく思いやりある地域づくりを頑張してほしい。年齢男女関係なく「お互い様」の心を持って秋田を盛り上げてほしい。(女性/40歳代/平鹿地域)
- 廃校になった小学校などの家庭科室(調理室)を使い、独居のお年寄りのための「大人食堂」など、地域のコミュニティにしたら良いのでは。(男性/60歳代/秋田地域)
- 一人暮らしの人たちが地区内で交流する場や楽しめる会を作ってもらいたい。(男性/70歳以上/仙北地域)

J. 健康・医療・福祉に関すること

- 自殺未遂・自殺防止への取組が必要。ただでさえ秋田県は少子高齢化が進んでいる。いじめに対する処罰を重くするなど、もっと早く見つけることが必要。(女性/10歳代/北秋田地域)
- 私自身不妊治療を経験し、都会と地方での医療格差をととも感じました。里親について調べた際も、秋田県の委託率の低さに驚きました。(女性/30歳代/秋田地域)
- 障害者支援や子育て支援など、充実した支援があるのに、利用できるか分からなかったり支援自体があることが分からなかったりするのでもっと該当する人が分かりやすいようにしてもらえたらと思うことがある。(女性/30歳代/由利地域)
- 子育て支援だけでなく8050問題に苦しんでいる世帯にも支援が必要と思います。生活保護を受けていないものの、困窮している世帯の支援をお願いします。(女性/50歳代/秋田地域)
- 健康寿命が長いのは良いが、寝たきり、認知機能の低下により、ただ生かされているだけの生活はどうなのかなと考えさせられます。(女性/60歳代/鹿角地域)
- 障害のある子どもの親亡き後のことがとても心配・不安です。入所できる場をもっと増やしていただきたいと思います。(女性/60歳代/由利地域)
- 介護職員の処遇改善を更に進めてほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- これから高齢者がますます増えていくと思うので、高齢者が生活しやすい、住みやすい県であってほしい。日本で秋田県が一番、高齢者が安心して暮らせる県になってもいいのではないのでしょうか。(女性/70歳以上/北秋田地域)

K. 教育・人づくりに関すること

- 学校教育の一環として行われているふるさと教育を、県外の方々とも交流できる一つ的手段として、今よりも更に広げてほしい。また、より学びを深められるような手立てがあればよいと思う。(女性/20歳代/鹿角地域)
- 高齢者施設と学校などが連携して、学校祭への参加や施設訪問などを通じて交流することで、良い影響があると思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 支援が必要な子どもに対して、早期に取り組める専門的な場所が少ない。また、家族への支援が乏しく、悩みを抱えている人へ行政がもっと積極的に対応してもらいたい。(女性/40歳代/秋田地域)

- 文化財保護に目を向けてほしい。また、これに携わる人材育成にも努力してほしい。郷土愛に満ちた県民を作るには身の回りの文化を知ることです。(男性/60歳代/秋田地域)

L. 防災減災に関すること

- 災害対策、特に冬季の雪害に力を入れてほしい。(男性/40歳代/秋田地域)
- 隣県にバスで旅行して感じたことですが、川幅が広いなど、洪水に対する対策ができていると思いました。県内では土砂の堆積や両側の木が繁茂して狭くなっているところもあるので、自然を損ねない程度に整備して災害に備えてほしいと思いました。(女性/70歳以上/仙北地域)

M. 生活環境・自然環境に関すること

- 野生の生物が最近よく家の近くに現れるようになり、野生の生き物たちも大変だと感じる事が多くなったので、自然環境保護に取り組んでほしいです。(女性/30歳代/秋田地域)
- 空き家問題。放置されてどんどん朽ち、壊れ、荒れ果てた家はとても怖いです。見た目もきれいで使える空き家の活用も考えていかないといけないと思います。(女性/30歳代/秋田地域)
- 車社会の秋田であっても、まずは歩道の整備が必要。(女性/40歳代/秋田地域)
- 道路へのタバコのポイ捨てが多いと感じます。美しい秋田を保つためにもぜひ取組の検討をお願いします。(男性/40歳代/秋田地域)
- 地域猫活動に力を入れてほしいです。毎年生まれてくる飼い主のいない子猫をこれ以上増やさないためにも、不妊手術は絶対必要です。これは個人でやるにも限界があります。もっと行政が動くべきだと思います。(女性/50歳代/仙北地域)
- 冬期間の除雪体制が後手に感じられる。(男性/50歳代/秋田地域)
- 空き家を有効利用できる取組や空き家バンクなどをもう少し広げてほしい。(女性/60歳代/秋田地域)
- 年間3分の1は雪との闘い。雪対策を考慮するべきと思う。(男性/70歳以上/北秋田地域)

N. 県政全般に対する意見・その他

- 新しいものをどんどん取り入れて都市化を図るより、もともとある秋田らしい魅力を生かして行ってほしいです。(女性/20歳代/秋田地域)
- 秋田に住む人は田舎だからと必要以上に自分の住むこの地域を卑下する印象があります。秋田に住む人自身が秋田の魅力に気付かない限り、県外の人に魅力を伝えて来たらう・住んでもらうというのは夢のまた夢という感じがします。まずは県内へ向けて「秋田の魅力とは何か」をアピールし、覚えてもらうのが一番ではないかと考えます。(女性/30歳代/秋田地域)
- ソーシャルメディア等便利だと思いますが、不便な立場にいる人が損をしたり、活動ができなくなったり、孤立することがないようにしてほしい。(女性/30歳代/秋田地域)
- もっとSNS等を利用して色々な人に県の取組をPRした方がいいと思う。いい素材があっても誰も知らなくては意味がない。県外に発信するのも大事だが、まずは県民たちが秋田県を好きになれるような取組と発信（PR活動）を行ってほしい。(女性/30歳代/秋田地域)
- 生活での困りごとなどあった時、書面での相談窓口があると気軽に聞けるので助かる。(女性/30歳代/雄勝地域)
- 日常的にニュース等をスマホで見ることが多く、地方のニュースを見る機会が減り、任意に興味がある記事を見ていないと感じている。地方の新聞や広報紙に触れることが効果的だと思われるが、ネットやSNSでの発信でも、どのようなことを行っているか更に周知をしてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 自分から興味をもたないと情報を得ることは難しい。町に興味を持つ機会を増やしたい。(男性/30歳代/由利地域)
- 高齢者相手の取組が多く、若い人に対する取組が少ない。どの年代の人も安定して住みやすいよう、どの年代の人に対しても均等に取組をしてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 新秋田元気創造プランがあることすら知らなかった。このようなプランをもっと県民全体にアピールすべき。(女性/40歳代/秋田地域)
- 古い体制に新しい風を受け入れる覚悟、決意、自分たちの足りなさを受け入れること、これらが必要。このままではいけないのだと認識してほしい。(女性/40歳代/秋田地域)
- 秋田県だけで解決できる問題ばかりではないけれども、なんとかして前に進めてください。(男性/50歳代/仙北地域)

- 一極集中にならないように田舎の地域にも公共の施設を作ってもらえれば、発展するのではないかと考えます。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 多くの人が秋田に住みたいと思えることが一番大切だと思います。どこに住んでも安心して生活できること、格差のないこと、困ったら助け合うこと、こんな秋田になったらよいと思います。(男性／50 歳代／北秋田地域)
- 私は秋田県に生まれて良かったと思っています。豊かな自然と温かな県民性が大好きです。これからも、そんな秋田で生き抜きたいと思っています。いろいろな問題も多く抱えていることとは思いますが、変わらない秋田でいることを心から願っています。(女性／60 歳代／仙北地域)
- 役所への申請時にパソコンを使用しなければいけないので、デジタルを使用していない人には手を出せない。役所の説明等は分かりづらい。大きい字、もっと簡単にしてほしいと思います。(女性／60 歳代／雄勝地域)
- 住んでいて良い所だと思いますが、何かおもしろみがない所だとも思います。(女性／60 歳代／鹿角地域)
- 県の取組が知られていないと思う。もっとPRすれば、また、口コミでも広く県民に知らしめれば参加する。参加したい気力が湧くと思う。「やっています」だけではダメだと思う。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 発信力が弱い。もっと秋田県の良さをアピールしよう。(女性／60 歳代／仙北地域)
- 秋田県は他の県より見劣りしている所が多いのではないかと。もっと私たちにもやったことを伝えるだけでなくどんな取組をやっているか、内容を知らせてほしい。私たちも参加できることがあるのではないかと。よりよい秋田県になってほしいです。(女性／60 歳代／秋田地域)

